

「企業コミュニケーションの新潮流：統合報告と ESG」

2012 年 10 月 30 日(火) 15:00-19:00

経済と社会を取り巻くグローバルな情勢の変化は、これまでとは異なる価値判断と行動を、企業と投資家の双方に求めています。リーマンショック以降、伝統的な財務情報で企業の経営の質、将来性を分析するには限界がきており、非財務情報の重要性への認識が高まっています。非財務情報の中で、特に代表的なものとして、環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)の頭文字をとって ESG 情報が挙げられます。昨今、投資家の間では、企業の持続性を求めた投資手法を模索しており、企業の ESG 情報も投資する際の重要な判断基準として積極的に活用し始めています。

一方、企業会計の世界では、企業の情報開示において新たなフレームワークを作り、国際標準にしようとする動きが海外で進んでいます。国際会計基準審議会(IASB)、米財務会計基準審議会(FASB)、国際会計士連盟(IFAC)など有力な国際組織がメンバーとして参画しているのが、「国際統合報告審議会(IIRC)」です。日本からは東京証券取引所が参画しており、今年 11 月に日本で会議が開かれる予定です。日本においても統合報告を検討し始める企業が増えていくことは間違いありません。

今回、IIRC の CEO 事務局長であるポール・ドラックマン氏の来日にあたり、最新の統合報告の動向についてご講演頂きます。また、青山学院大学国際マネジメント研究科北川哲雄教授には、長年のアナリストのご経験から、投資家が求める企業情報についてお話頂きます。その後のパネルディスカッションでは、企業の情報開示に携さわる専門家の方々を交えて、財務情報と非財務情報を組み合わせた新しいコミュニケーションの枠組みである統合報告について、グローバルなトレンドと日本における課題について議論して頂きます。

是非、多くのおみなさまにご参加頂きたく、ご案内申し上げます。

「企業コミュニケーションの新潮流：統合報告とESG」

日時：2012年10月30日(火) 15:00-19:00

会場：ブルームバーグ 東京オフィス 丸ビル21階 オーディトリウム

主催：ブルームバーグLP

共催：IRユニバーシティ(事務局：ジェイ・ユーラス・アイアール(株)内)

協力：日本IR協議会、国際統合報告審議会(IIRC)

申込：<http://www.bloomberg.com/promo/Oct/50648492/> 本サイトよりお申込頂けます。

プログラム：

15:00 「統合報告書時代のIRの在り方」

青山学院大学国際マネジメント研究科 教授 北川 哲雄 氏

15:30 ブルームバーグによる ESG セッション

15:45 「投資家が求める統合報告の方向性」

国際統合報告審議会(IIRC) CEO ポール・ドラックマン 氏

16:15 「統合報告時代の証券取引所が担う役割」

シンガポール証券取引所 ディレクター ジェーン・ディプロック氏

16:50 パネルディスカッション「市場から期待される ESG 情報開示とは？」

パネリスト：

青山学院大学 国際マネジメント研究科 教授 北川 哲雄 氏

ニッセイアセットマネジメント 運用企画部審議役兼株式運用担当部長 辻本 臣哉 氏

第一三共株式会社 コーポレートコミュニケーション部 IRグループ長 近藤 成径 氏

KPMG ジャパン統合報告アドバイザリーグループ パートナー／公認会計士 齋尾 浩一郎 氏

モデレーター：

ジェイ・ユーラス・アイアール株式会社 代表取締役 岩田 宜子 氏

18:20 懇親会

19:00 終了